

弁護士のための車選び

当会会員 小川 恵司 (46期) ●Keiji Ogawa

「若者の免許離れ」と言われる時代になり、車好きには悲しい状況が続いておりますが、我々の世代にとっては、「車、時計、海外旅行」というのは、憧れの世界であり、私も例外ではありませんでした。

車は、趣味性が高いので、お勧めというのは難しいのですが、①車としての基本性能がよいこと、②スタイルがよいこと、③駐車場を選ばないこと（弁護士会館の地下に駐車できるサイズ）、④ゴルフに行ける荷室・チャイルドシートを設置できる後席があること、⑤エコであること、⑥コストパフォーマンスに優れていることを基準とします。さらに、いかにも高そうな車に乗っていると、依頼者に「先生、儲かってますねえ。」と言われそうなので、そう言われても、謙虚に返答できる「弁護士としての車選び」をしてみました。

○メルセデスベンツ Cクラス (427万円～)



依 「ベンツですか。格好いいですね。」

弁 「でも、これCクラスですから。」

上のEクラスやSクラスと見まごうばかりの押し出しでありながら、決して高級車ではないという分を弁えた車ですね。かつてのCク

ラスのように上級クラスとの見た目の差別化は少なくなり、素人には見分けが付きません。運転のしやすさ・燃費のよさも含め、過去最高のCクラスです。セダンタイプ（写真）もありますが、ステーションワゴンの方が、大きく見えて見栄えがよく、実際は、スリムで駐車も楽です。荷室も広く、ゴルフに行くにもいい車です。

○フォルクスワーゲン パサート (329万円～)



依 「いい車乗ってますね。」

弁 「でも、これワゴンですから。」

メルセデスとは逆に、国民的大衆車フォルクスワーゲンの最高級車という位置づけになります。車格もあり、色あいも上品で、賢そうに見えます。どう見ても高級車なのに、VWマークがついております。出たばかりの新型（写真は旧型）は、この車を、何と1400CCという小排気量のターボエンジンで動かしますが、優れたツインクラッチと相まって、一般道はもちろん、高速でも全くストレスなく走れます。荷室も巨大です。

○マツダ アテンザ XD (317万5200円～)



依 「これ、どこの車ですか？」

弁 「これ国産ですよ。マツダです。」

現在の私の愛車です。車のシルエットがヨーロッパ車のような流線型で、大きさもでかいので、外車に見えるのです（内装は国産です）。しかも、クリーンディーゼルで、通勤に使っている私の車の実燃費は軽油でリッター14キロという驚異の数値。満タンで何と800キロも走ります。ディーゼルですから、トルクが分厚く、高速道路もスイスイです。前2車もそうですが、ACC（自動追従運転）付きなので、ゴルフ帰りの高速で、アクセルもブレーキも踏まないで帰れます。もう、ACCなしの車には乗れません。

以上、値段順にお勧めを紹介しましたが、以下は、基準を少し外している趣味性の高い車です。いずれも1000万円オーバーなので、中古で買ってください。依頼者から、「先生、儲かっていますねえ。」と言われたら、「いやこれ中古です。」と切り返してください。なお、4年落ち以上の中古車は、2年で償却できます。儲かった年は是非車を買換えてください。

1. ポルシェ 911



車としての基本性能は最高です。「よく走

る、よく曲がる、よく止まる」の三拍子そろって、見た目より運転もしやすい。普通の車のトランクの部分にエンジンが入っていますので、ゴルフバッグは、後部座席へ。車体が軽いので、意外と燃費は悪くない。

2. 日産 GTR



普通に売っている車で、素人が運転する限りは、おそらく一番速い車でしょう。知らぬ間に恐ろしいスピードが出ている危険があります。この車のいいところは、一応4人乗れて、チャイルドシートも付けられ、ゴルフバッグが2セット入るトランクがついているのです。さすが日産。

3. ローバー レンジローバー



でかいので駐車場には苦勞するのですが、世界最高のSUV車（パリダカなどに出場するオフロード車）です。SUV車でありながら、イギリス王室でも使われているセレブの乗り物です。知的な見た目も、乗り心地も最高です。燃費が気にならない方にお勧めです。

※写真は、トーサイアボ様から提供いただきました。

